令 和 ９ 年 度　事 業 計 画 （案）

１研究活動方針

特別支援教育を取り巻く状況は、社会の変化や教育的ニーズの多様化とともに大きく変化している。共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築が進められる中、特別支援教育は、特別支援学校や特別支援学級、通級による指導のみならず、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の全ての学校において、その重要性が一層高まっている。

各学校においては、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、合理的配慮の提供や個々の実態に応じた指導・支援の充実が求められている。また、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善やICTの活用、学校内外の関係機関との連携など、多様な学びを支える教育環境の整備も重要な課題となっている。

本研究会では、特別支援学級や特別支援学校における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への指導・支援など、各学校が抱える今日的課題について研究協議を重ねてきた。今後も、幼小中高特の全ての学びの場において、教職員一人一人が特別支援教育への理解と専門性を深め、実践的な指導力を高めていく必要がある。

こうした社会的動向や教育課題を踏まえ本研究会は、研究協議や実践交流を通して諸課題の解決に向けた研究を推進する。そして、幼児児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けた教育の一層の充実を図るとともに、教職員の専門性及び指導力の向上を通して、本県特別支援教育のさらなる発展・振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて

○幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
○発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
○全特連埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

２　事業計画

（１）　令和９年度（2027）総会
令和９年６月１１日(金)
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

（２）　第66回埼玉県特別支援教育研究協議会
越谷大会
日時　令和９年８月　日（　　）
場所
開催方法　参集、オンライン開催
全体会、分科会（詳細は別途提案）

（３）提案者等推薦（12月には決定）
第 ６１回関東甲信越地区特別支援教育研究協議大会東京大会
第６分科会「自閉症等の児童生徒への対応」
提案者：

司会者：

（４）　後援事業
・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会
・埼玉純真短期大学 研究セミナー

（５）研究部活動
・難聴・言語障害教育研究部会
・発達障害・情緒障害教育研究部会
・特別支援学校部会

（６）会報の発行　・第５９集（令和１０年３月発行

（７）理事・役員研究協議会
第１回役員研究協議会　　令和９年４月30日(金)
第１回理事研究協議会　　令和９年６月11日(金)
第２回役員研究協議会　　令和９年７月２日(金)
第２回理事役員研究協議会兼第3回役員研究協議会
令和９年11月26日(金)

（８）その他の事業
・地域･地区特別支援教育研究会への支援